

大規模な災害が発生した場合には、被災地への電話がつながりにくくなります。電話がつながりにくい時は、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を利用して安否を確認することができます。それぞれ体験利用できる日があります。もしもの時に備え、使い方を覚えておいてください。

 <p>災害用伝言ダイヤル 電話番号 171</p>	 <p>web171 災害用伝言板</p> <p>https://www.web171.jp/</p> 
 <p>NTTドコモ 災害用伝言板</p> <p>http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</p> 	 <p>a u 災害用伝言板</p> <p>http://dengon.ezweb.ne.jp/</p> 
 <p>ソフトバンク 災害用伝言板</p> <p>http://dengon.softbank.ne.jp/</p> 	 <p>ワイモバイル 災害用伝言板</p> <p>http://dengon.ymobile.jp/info/</p> 

みんなの防災手帳

平成26年10月に全世帯配布した「みんなの防災手帳」には、災害への備えを行うために役立つ情報がまとめられています。いざという時の備えとして、家族間で話し合い活用してください。

◆ 家族で話し合って、大切な情報を記入しよう

手帳の序章には家族情報を書き込めるページがあります。項目に沿って家族みんなで話し合い、いざという時に心がけておくべき大切な情報を記入しておきましょう。



◆ 地域の集まりに持って行きましょう

地域で行われる防災関連の集まりなどへ「みんなの防災手帳」を持ち寄り、地域の防災情報・危険情報を防災メモ欄へ書き込んで活用しましょう。



語り継ぎ、行動する

「此处より下に家を建てるな」

これは、「大津波記念碑」と標記された右の重茂姉吉地区の石碑に刻まれた文章の一節です。明治三陸地震津波と昭和三陸地震津波で多数の人命が失われた当地区では、残された人々が津波到達地点にこの石碑を建立しました。

こうした先人と同じように私たちは、経験した塗炭の苦しみや、得た教訓を将来世代に語り継ぐとともに、災害に強い街やコミュニティを作り、一人ひとりが防災行動力を身につけるための取り組みを続けることが求められています。



大津波記念碑
(重茂姉吉地区)

※市内に点在する津波災害を伝える石碑や遺構などについては、平成30年10月（予定）以降、市民交流センターの防災展示スペースで情報提供を行います。